

## 【審査関係資料】

【北海道高体連登山専門部 旭川工業高等学校 細野 護】

### 1. 審査について

北海道における全道大会や支部大会の審査は、基本的には全国の審査基準に基づいてはいたが、2019年(令和元年)までは、気候の違いや登山に対する認識の違いから、独自の審査基準が設けられていた部分があった。

これまでの審査は登山経験や審査経験の豊かな顧問に頼る部分が大いにあったが、学校数も減少し経験の浅い顧問も多くなり、特に配点の半分以上を占める体力や歩行の得点基準が曖昧なことが問題となっていた。

そこで2023年(令和5年)に全国大会が開催されることに合わせて、北海道でも全国の審査基準と同じ基準で審査する方向に舵を切った。全国の審査基準は明瞭でわかりやすく、ある程度登山経験があればできるようになっているところが大きい。

全国にならって審査委員だけが携帯する審査マニュアルを作成し、減点法で、減点幅も細かく設定し、実施できなかった審査は不問点(満点)とした。特に体力歩行については、かなり明確になり審査しやすくなったと同時に安全登山に最も重要な体力点で差がつきやすくなった。

2023年(令和5年)の選抜大会以降の全道大会からは、参加した顧問全員が何らかの審査にあたるように配置し、全員で大会審査にあたることとなった。

大きな変化ではあったが、特定の顧問だけが審査するのではなく、全員で審査にあたり順位をつけることは有意義である。また、経験の浅い顧問も経験を積みやすくなった。

また、北海道独自の隊長による行動中テストは配点を縮小し残すこととなったが、山座同定や観天望気など登山行動中に必要な知識を問うことはとても重要であり、今後も残すことができればと考えている。

資料として、2025年(令和7年)における「北海道高体連 登山大会 審査基準 (選手用)」と「全国高等学校登山大会成績評価実施要領」を掲載する。

### 2. ペーパーテスト

記述式においては、採点基準で紛糾することが多く、できるだけ選択肢問題となることを出題者をお願いしている。また、出題は全国にならって登山部報からのみと

した。大会山域の資料については、事前に当番校から北海道高体連登山専門部 HP にアップしていただき、その中からの出題とした。この形式になってから審議することがかなり減少し、円滑に採点が進むこととなった。

資料として、2024年(令和6年)全道大会問題を掲載する。出題者は札幌北高等学校(現札幌南高等学校)の佐々木亮介先生です。また、2023年(令和5年)全国大会(北海道総体)問題も掲載する。

### 3. 気象審査

最も専門知識が必要であり、採点にも工夫が必要な審査項目である。いつも特定の顧問(桐尾先生、竹中先生、内海先生、板垣先生、佐々木先生、木村先生等)にご負担をかけることになっている。少しでも負担を分散し誰もが採点できるように、現在はそのベースを木村先生に作っていただいているところである。

資料として、2025年(令和7年)全道大会問題を掲載する。出題者は北広島高等学校の木村宣幸先生です。

### 4. 地点確認

全国大会にならってP旗を作成し、チームで地点確認することとした。以前は行動中テストの際、個人に出題していた。コースパイロット(専門委員長)が早めに出発し、1山行中5地点程度に設置する。



北海道高体連 登山大会 審査基準 (選手用)

大項目	小項目	配点	内 容
行動	体力	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動日の登山内容の軽重に応じ点数を配分</li> <li>・以下の項目に該当する場合、その程度に応じ減点 <ul style="list-style-type: none"> <li>余力の有無、疲労度、体力配分、パーティ内での離れ、前パーティからの離れ、隊からの離れ、行動不能(リタイア)</li> </ul> </li> <li>・基本的な基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>リタイアすればその日の体力は0点、隊からの大幅な離脱状態は大幅減点、隊からの遅れの繰り返しはその程度に応じて減点する</li> </ul> </li> </ul>
	歩行技術	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動日の登山内容の軽重に応じ点数を配分</li> <li>・以下の項目に該当する場合、その程度に応じ減点 <ul style="list-style-type: none"> <li>スムーズさ(足のふらつき、つまづき、スリップ)、リズム、バランス、ペース(走らない)、悪場(雪渓を含む)などでの行動、転倒、転落、落石、登り下りの歩幅、足場・ホールドなどの選択等</li> </ul> </li> </ul>
生活	装備	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な装備を所持しているか、その量が適切か … 4点(詳細は備考欄)</li> <li>・必要な医薬品を所持しているか、その量が適切か … 2点(詳細は備考欄)</li> <li>・行動中の装備状況は良好か … 4点(詳細は備考欄)</li> </ul>
	設営撤収	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10分以内に設営</li> <li>・以下の項目について、その程度に応じ減点 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 仕事分担・連携は適切か、設営具の量と使い方、<u>予備品の有無</u>、設営中の荷物の処理、ザックを入れて終了</li> <li>* ベグ・張り綱の適否、フライの取り付け状況、チャックが閉まっているか、チャックが閉めにくくないか、テント内の荷物は整理されているか</li> <li>* 行動出発後、ベンチレーター・チャックなどが閉めてあるか、内部が整理されているか</li> <li>* 張り綱などが緩んでいないか、ごみ・燃料・食料の処理が適切にされているか</li> </ul> </li> </ul>
	炊事	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の項目について、その程度に応じ減点</li> <li>炊事用具(コンロ)の整備状況・使用法・安定設置・燃料の量(過多、過少は減点)</li> <li>食料計画と実際の一致、内容の適正(レトルトのみ、過多は減点)、残飯・ゴミの量腐敗対策、衛生的な調理等</li> </ul>
知識	気象(1人)	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取りを含め、40分以内に完成させ、以下の項目について審査する <ul style="list-style-type: none"> <li>各地の天気 … 1.2点</li> <li>高・低気圧、前線等の位置 … 1.6点</li> <li>等圧線の記入 … <u>0.8</u>点</li> <li>実況解析、予報 … <u>0.4</u>点</li> </ul> </li> <li>・詳しい採点基準は、登山部報の統一学習資料「登山と気象知識」、Ⅱ「地上天気図の書き方」に準じる。</li> </ul>
	計画記録	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書…2点 必要事項が記入されているか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>量(全部でA4版3枚以内(A6で両面印刷24ページ以内))、緊急連絡先(選手の自宅でも可)、メンバー表、日程、装備表、食料計画、山域の研究(概念図・断面図等)、研究課題、医薬品リスト</li> </ul> </li> <li>・記録書…3点 事後の山行に役立つ記載がされているか <ul style="list-style-type: none"> <li>配布された冊子に、記載する地点(スタート地点+主要地点+休憩地点+ゴール地点)の出発・到着時間、または通過時間の記入、天気、コース概況、自然観察(地形・植生含)、メンバーの様子など記入されているか</li> </ul> </li> </ul>
	行動中テスト	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の項目について審査する <ul style="list-style-type: none"> <li>地点確認(パーティーで相談の上) … 2点</li> <li>登山に必要な知識・自然に関すること等(隊長より) … 3点</li> </ul> </li> </ul>
	ベーパーテスト(3人)	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全登山を中心に、基礎的かつ必要な知識について出題する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>会場の山域(登山コース、自然、地形、等)について</li> <li>登山の基礎知識(読図、気象、救急法、安全登山、用語、等)について</li> <li>研究課題について</li> </ul> </li> <li>・山域の各地点の標高など読図すれば得られる情報については出題しないが、大会における目的の山頂の標高程度は出題される</li> </ul>

大項目	小項目	配点	内 容	担当
態度	パーティ シップ  マナー  モラル	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の項目を中心に審査する</li> <li>集合時間や就寝時間など、時間を守った行動をしているか</li> <li>動植物の保護、ゴミ処理などの環境保護に配慮した行動をしているか</li> <li>登山のマナー(投石等の危険行為をしない、言動素行など)を守った行動をしているか</li> <li>CL、SL、メンバーの役割を果たしているか</li> <li>パーティーのまとまりはあるか</li> <li>テント、ザック(含カバー)(直接記入可)、に見やすく記名されているか</li> <li>帽子にゼッケンが正しく装着されているか等</li> </ul>	
備考				
【装備】				
* 個人装備				
<p>《全装行動》食器、寝袋(収納時要防水)、メインザック  《サブ行動》雨具(上下・防水加工)、防寒具、水筒(ペットボトル代用可)、ヘッドランプ(絶縁)、予備電池、タオル等、計画書、記録書、地形図(パーティで一部本物があれば後はコピー可)、磁石・コンパス、筆記具、呼笛、サブザック、ザックカバー、手袋(軍手)、帽子(紐付き・ゼッケン付き)、細引(4~6mm×5m)、マッチ(ライター)、ナイフ、ビニール袋(ゴミ袋、レジ袋)、非常食(1000kcal)、行動食、スパッツ、真水500mL以上、防寒シート(アルミ素材など)、携帯トイレ</p>				
* 共同装備				
<p>《全装行動》テント一式、炊事用具一式(コンロ台・衛生シートを含む)、予備食  《サブ行動》ツェルト、救急薬品一式(要防水)、修理具、ラジオ(絶縁)、コンロ、燃料、金属食器(加熱できるもの)</p>				
* 行動中の装備状況				
<p>ザックのバックギン状況、帽子、手袋の使用状態、風雨の対策、靴ひも・スパッツの状態、装備に工夫はあるか、手に不要なものを携行していないか、服装の不備等</p>				
【確認事項】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>救急装備一式は、消毒薬・虫さされ薬・湿布薬・カットバン・体温計・テーピング(幅35mm以上、巻きの厚さが1cm以上)・三角巾・包帯を所持する。薬品の量は、2人分2日分を目安とし、防水・衛生に注意する。風邪薬・整腸剤(胃腸薬)・鎮痛(解熱)剤等は必要ならば個人で所持する。</li> <li>修理具は、ペンチ、針金、針と糸、リペアテープまたはガムテープを含む。</li> <li>ラジオ、ヘッドランプについては、絶縁を施すこととする。ただし、ロック機能や電源が入らない工夫があれば、絶縁の必要はない。</li> <li>サブ行動時のコンロ、燃料、金属食器は、非常時にお湯を沸かし飲めるための物とする。</li> <li>防寒具はウール素材かフリース素材、羽毛素材で、防寒機能がついているものとし、上衣(フリース等)があれば可。</li> <li>行動食と非常食は区別し、量も問われる。</li> <li>予備食は下山が遅れた時などに対応するもので、通常の食事に準ずる内容のものである。コンロを使用することを前提に、1人あたり300kcal以上のもので1食以上をパーティとして持参する。また通常の食料と区別がつくよう、予備食であることを明記する。</li> <li>非常食は、食料計画の中で種類・量(目安は1000kcal)を明示し、個々人で持参する。</li> <li>テント用具一式にはテントシートが入らなくても良い。</li> <li>炊事用具一式にコンロ台(もしくは分離型は輻射熱対策にバーナーシート、一体型は安定のため三脚)が必要。</li> <li>まな板はベニヤ板等の代用でよいが、コッヘルのはたは不可。衛生シートは必携。</li> <li>サブザックは必ずしもメインザックの中に入れてなくてもよいこととするが、大会中に全装行動がある場合は、メインザックのみでの行動とする。</li> <li>下肢を露出する短パン、スカート等は不可とする。</li> <li>燃料の量は過剰装備にならないよう注意する。全道大会の日程・食糧計画であれば、満タン(レギュラーサイズ)のガスカートリッジ(レギュラーサイズ)、4個(上限)までを基準とする。・ガソリンコンロは禁止。</li> <li>大会中GPS・高度計・GPSおよび高度計機能付の電子機器(所持については不問)は使用してはいけない。携帯電話も同様だが、隊長判断で使用を認める場合がある。</li> <li>炊事用具、設営用具の不備については「炊事」「設営」の項目で行う。</li> </ul>				

その他の審査基準は最新の登山部報に準ずる  
令和7年5月7日改訂 北海道高等学校体育連盟登山専門部

# 全国高等学校登山大会成績評価実施要領

全国高体連登山専門部

全国高校総合体育大会は、高校における各種スポーツの振興をはかり、その健全な発展のために開催される。全国高等学校登山大会もその一部門として、総合体育大会との関連において運営されなければならない。

この登山大会は、正しい高校登山の在り方を求め、その着実な展開と研究を主目的として安全登山を推進するためのものである。

この登山大会の成績評価は、単に優勝を競い順位を争うためのものではなく、大会の主旨を尊重し、登山の基礎的な技術・態度を着実に実践できることを主眼として次の基準によって行うものである。

## 全国高等学校登山大会＜審査基準と指導目標＞

区分	審査項目	審査内容	指導目標	審査細目
I 行 動  (50点)	1 体 力 (40点)	・その山行にふさわしい体力がある。	・持久力のある体力を持ち、山になれた歩行ができる。 ・スタミナの配分を心得、安全・確実な登山を楽しむ余裕をもつ。	・持久力。 ・スタミナの配分。 ・リズム、スピード、バランス。 ・チーム内、チーム間の適度な間隔。 上記について留意し、定められたコースを登山し総合的に評価する。
	2 歩 行 技 術 (10点)	・安全確実な歩行技術が身についている。		・歩行バランス。 ・適度な歩幅。 ・スリップ、転倒をしない。 ・走らない。 ・リズムカルな歩行。
II 生 活 技 術  (15点)	3 装 備 (5点)	・必要品の所持。 ・その数量と保安が適切である。	・必要品の所持とその数量が適切であり、合理的な収納、パッキングを行うことができる。 ・身体保護のための適切な服装着用ができる。	(注)アンダーラインは個々に防水する携行品 (注)○印はサブザック行動時に携行する装備品 ・共同携行品 テント一式(フライを含む)、○ツェルト、炊事用具一式、コンロ、燃料、○救急装備、○ラジオ、○温度計、予備食、○修理具、○裁縫用具 ・個人携行品 ○雨具(上下)、○防寒着、寝袋、着替一式、○水筒、食器類、○細引、○ヘッドランプ(予備電池を含む)、○計画書、

II 生 活 技 術  (15点)	3 装 備 (5点)			<ul style="list-style-type: none"> <li>○大会地図、○磁石、</li> <li>○時計、○筆記具、○ナイフ、</li> <li>○呼笛、○手袋、○マッチ、</li> <li>○ライター、○非常食、</li> <li>○行動食、ザック、○サブザック、</li> <li>○(その他その山行に合った必需品)</li> <li>・必要な救急装備の所持。</li> <li>・服装 登山大会服装規定に従う。 登山靴、帽子の着用。</li> <li>・携行品の破損の有無。</li> </ul>
	4 設営・撤収 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作に無駄がなく、メンバーの連携と手順がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テントの仕様を理解し、強度を損なわず、特性を活かした適切な扱いができる。</li> <li>・安全に、かつ悪天時にも対応しうる適切な設営手順を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定時間内での設営、撤収。</li> <li>・手順。</li> <li>・ペグの位置、打ち込み、本数。</li> <li>・張り綱の適正な張り方。</li> <li>・設営中及び設営後のザック等の整理。</li> <li>・撤収後の整地。</li> </ul>
	5 炊 事 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全や衛生に配慮している。</li> <li>・食料計画が適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料計画は栄養的知識に基づいた献立と調理法を理解し、行動計画に適合して工夫と応用ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンロの正しい使い方。</li> <li>・安全への配慮。</li> <li>・燃料の量及び管理。</li> <li>・食料計画と実際の一致。</li> <li>・衛生的な調理。</li> </ul>
III 知 識  (20点)	6 天 気 図 (4点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気図の作成・解析、天気予報ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象に関する基礎的知識を持ち、天気図の作成と解析、天気予報ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地点の気象。</li> <li>・放送等圧線。</li> <li>・等圧線。</li> <li>・高気圧、低気圧、前線。</li> <li>・解析・予報。</li> </ul>
	7 課題テスト (1)自然観察 課題テスト (4点) (2)救急知識 課題テスト (4点) (3)気象知識 課題テスト (4点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山に臨むうえで基礎的な知識を有する。</li> <li>・会場となる山域についての基礎的な知識を有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じた適切な対応をとれるよう、実践的な知識を習得する。</li> <li>・対象となる山域について研究し、必要な知識を身につけて登山に臨む。</li> </ul>	<p>(1)(2)(3)共通課題として、予報第1号より、大会山域に関する基礎的な知識を問う。</p> <p>このほか、各課題テストでは次の内容で出題を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)登山を行う上での一般的な知識。</li> <li>(2)実地に対応できる基礎的救急処置の知識。</li> <li>(3)天気図等の情報の活用、観天望気を行うための基礎的な知識。</li> </ul>

	8 計 画 書 (2 点)	・登山計画書の記載が適切である。	・登山計画書の必須事項を適正に記載する。	・メンバー表 (氏名、生年月日、住所、保護者、電話)、緊急連絡先 (留守本部、大会本部)、日程表、荒天対策、概念図、断面図、装備表 (共同、個人分担表、重量)、食料計画 (献立、カロリー、分担、重量、予備食、行動食、非常食)、救急装備表。
	9 行 動 記 録 (2 点)	・行動記録の記載が適切である。	・事後に役立つ行動記録の記載をする。	・主要地点の出発・到着時間、または通過時間、天気、コースの概況、自然観察 (植生含む)、体調の記入。
IV 読 図 技 術 (10 点)	10 読 図 技 術 (10 点)	・コース上の定点の位置が、地形図上で特定できる。	・読図・地形の観察が現地で即応できる。	・読図による地点確認。
V マ ナ ー ・ 自 然 保 護 (5 点)	11 マ ナ ー ・ 自 然 保 護 (5 点)	・自然保護をわきまえ、マナー全般がよい。	・自然保護をわきまえ、マナー全般にわたり良く、他の登山者への気配りができる。	・時間の厳守。 (出発・集合・起床・就寝) ・休憩時のザック位置の配慮、マナー。 ・歩行中のマナー。 ・自然保護への配慮。 ・幕営地におけるマナー。 ・指示の遵守。

(平成27年11月改正、平成30年11月一部改訂、令和6年11月一部改訂)

## 第 63 回北海道高等学校登山選手権大会ペーパーテスト問題用紙

### 1 今大会のコース概況に関する以下の文章について、以下の問に答えよ。

ニセコ連峰は、岩内町・共和町・倶知安町・ニセコ町・蘭越町にまたがり、東西およそ 25km に連なる火山群である。登山行動 1 日目で使う国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図の図葉名は「(A)」とニセコ連峰最高峰の名前である「(B)」である。いずれも磁北は西偏およそ (C) 度である。イワオヌプリは、ニセコ山系で最も若い火山である。頂上部の火口がへこみ、斜面の各所に黄色い (D) の結晶がたくさん見つかる。アイヌ語名もイワウ・ヌプリ ((D) の山) である。山の姿もニセコの他の山に比べて急峻な岩山で、遠くからでも一目でそれとわかる特徴的な山である。

イワオヌプリの登山口は (E) 温泉のそばにあり、登山口の横に流れる川は (F) 川である。登山行動 1 日目の行動は、ここから道道 66 号 (パノラマライン) までがチーム行動で、ここから先が隊行動となる。(F) 川にかかる橋を越えたところにはお花畑がある。

登山ポストは (G) 町に位置する。木製の階段を登るとかん木帯に入る。標高 930m 付近に、直進するルートと右に分かれる分岐 (イワオヌプリ分岐) がある。針路を東にとり、イワオヌプリへ向かう。眺めがよくなり、ニセコアンヌプリが南東に見えるようになる。(H) 型の大きなクレーターの縁に出ると、正面奥にはイワオヌプリの頂上が見える。火山灰や火山れきの斜面であり、道が不明瞭であるため、ガスが出た際は (I) に注意が必要である。山の斜面には、火山が活動した生々しい形跡が残っている。イワオヌプリの山頂は (J) 町に位置するが、登山道が伸びるのはその手前までである。山頂は平坦な火山灰地で、鉄製の標識をコンクリートで固めたケルンが立っている。山頂からは、大沼・ニセコ連峰の山々・羊蹄山が見える。西側には小イワオヌプリがある。本峰のイワオヌプリと小イワオヌプリは、ともに輝石安山岩からなる溶岩円頂丘である。

イワオヌプリから下山し、イワオヌプリ分岐から北に進むとすぐにもう一つの分岐があり、ここで西に針路を取って、ニトヌプリへ進む。ニトヌプリの山頂上には、1市区町村界が通っている。市区町村界の東側が (J) 町で、西側が (G) 町である。ニトヌプリは、北峰と南峰を持つ (K) であり、登山道は (L) 峰を通っている。北峰も南峰も輝石安山岩質の溶岩噴火によって作られたものだ。ニトヌプリから北西へ向かう下りのルートは岩が多くて歩きにくい。標高 832m で道道 66 号 (パノラマライン) にぶつかる。車道を少し歩き、チセヌプリの登山口へ向かう。

チセヌプリは、アイヌ語で「(M) 形の山」という意味である。台形状で頂上が平坦に見えるのは、浅いクレーターによりへこんでいるためである。チセヌプリの登山口は道道 66 号にあり、ここはチセヌプリとニトヌプリの (N) である。標識には「北口」とあるが、実際にはチセヌプリの真 (O) に位置する。高度が上がると、斜面は笹とダケカンバに覆われる。振り返って東方向を見るとニトヌプリが見え、ニトヌプリの後方にはイワオヌプリ・ニセコアンヌプリ・羊蹄山が見える。チセヌプリの頂上は平坦な草地であり、1市区町村界が通っている。その北側は (P) 町で南側が (G) 町である。2ハイマツ越しに浅い火口底にできた二つの沼と周囲に広がる湿原が見える。

チセヌプリを西に下りると、西口 (湯本温泉ルート (廃道)) との分岐がある。この分岐を北西に進むと、3チシマザサに覆われたチセヌプリとシャクナゲ岳の (N) の分岐に出る。ここを北に向かうと長沼へ、北西に向かうとシャクナゲ岳に続く。この分岐も (G) 町に位置する。ここから北へ進むと長沼の沼の南端に出る。長沼は南北に長い沼で、登山道は (Q) 岸をたどる。長沼の北にある分岐を北東に進んで神仙沼に向かう。神仙沼の手前に分岐を北に向かうと今回の山行のゴールとなる神仙沼レストハウスに至る。

羊蹄山は、円錐形 ((R) 型) の成層火山である。羊蹄山の活動は、約 5・6 万年前から開始し、4 万年前までに古羊蹄山が形成され、その山体の大規模崩壊の後、新羊蹄山の活動が開始した。約 4000 年前の噴火による溶岩流は、現在の (J) 町市街の一部まで到達している。日本書紀には、659 年に阿倍比羅夫が後方羊蹄に政庁を置いたと記され、(S) がこれをもとに山の名を後方羊蹄山 ((T)) と名付けた。羊蹄山のアイヌ名は「(U)」である。

この日の山行で使用する国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図の図葉名は、「羊蹄山」と「倶知安」であるが、いずれも磁北は西偏およそ (C) 度である。この山への登山ルートは比羅夫・(V)・喜茂別・京極の 4 つがある。

羊蹄山は (W) 分布が明瞭な山で、大径木を含む森林が山麓から二・三合目あたりまで見られる。その上の四・五合目近くになると、4針葉樹が優勢となり、それ以上は矮小化・耐雪圧型化した (X) が優占

する。さらに九合目以上は高山植生が優占する高山帯になる。7月上旬から8月上旬には標高 1700m 以上で 100 種以上の高山植物が花を咲かせる。植生が豊かなため、生息している動物類も多い。野鳥も 130 種以上確認されている。

登山行動 2 日目の行動は、キャンプ場の奥にある登山口からスタートする。今大会では、羊蹄山避難小屋までチーム行動であり、そこから先は隊行動となる。コースの途中で水場はない。しばらくは林の中を進み、見通しはきかない。すぐに寄生火山である (Y) への分岐点を通る。(Y) 分岐を過ぎると間もなく二合目である。四合目から先は傾斜がきつくなり、ジグザグの道となる。斜面を登ると、時おり洞爺湖・昭和新山・有珠山が見える。六合目手前の標識付近で道が急なガレ場を左に曲がる。初夏は残雪があるためルートの確認が必要だ。八合目から、山頂から南西にのびる尾根を巻き、空沢のガレ場を通るが、初夏には残雪があるため、(Z) する際は注意が必要である。この付近で高山植物が現れる。視界も開けて、噴火湾や渡島半島の駒ヶ岳も見ることができる。やがて、九合目手前の分岐点(1660m)だ。この分岐の北側に伸びるルートを進むとすぐに避難小屋が見えてくる。

避難小屋は (a) 町に位置する。避難小屋に宿泊することは可能ではあるが、小屋はあくまで緊急避難用となるので、(J) 町は登山者に日帰り登山を最優先とした計画を立てるようお願いしている。避難小屋を過ぎてさらに進めば、左手に星ヶ池があり、そのまま比羅夫コースに合流する。合流地点は比羅夫コースの九合目になる。

この分岐を東に登ってゆくと、左手には (b) 状の地形が見られる。標高 1790m 付近の分岐を東に直進すると火口の縁に出る。目の前の火口の底に見られるのは (c) と子釜であり、これらは (J) 町に位置する。一番大きな火口は (d) と呼ばれ、周囲 5km・深さ 200m・最大径 750m である。(c) の北には北山がある。(c) と子釜を越えて山頂を目指す、火口縁の北側には山火事で枯死した 2ハイマツが見られる。京極コースと合流すると山頂は目の前である。ピーク付近の三角点の標高は最高点より少し低く、真狩岳と呼ばれる。その南側に最高点である羊蹄山の山頂がある。

火口周辺は高山植物が多い。羊蹄山はアップダウンがなく、低地から高山へと植物の (W) 分布の様子が顕著なので、比羅夫コースと山頂部が「後方羊蹄山 ((T)) の高山植物帯」として 1921 年に天然記念物に指定された。

下山は、北山を経由し、比羅夫コースの登山口を目指す。避難小屋へ向かう分岐付近には 2ハイマツが多く、岩れきに覆われている。ここから下は、つづら折りとなっている。標高が下がるにつれて植生の様子が変わる。一合目付近の風穴には、暗い穴の中に黄緑色に光るヒカリゴケが見られる。登山口に近づくにつれ、トドマツ・カラマツの人工林となる。登山口には駐車場とトイレと水場が整備されている。

問 1 空所に入る適語を以下の語群から選び、番号で答えよ。(30=1\*30)

- |              |           |              |              |
|--------------|-----------|--------------|--------------|
| 1. アトサヌプリ    | 17. カルデラ  | 33. 松浦武四郎    | 49. シャクナゲヌプリ |
| 2. イワオヌプリ    | 18. 北     | 34. 馬蹄       | 50. しりべしやま   |
| 3. イワヌプリ     | 19. 京極    | 35. マール      | 51. テラス      |
| 4. うしろようていざん | 20. 家     | 36. マッカリヌプリ  | 52. トムラウシヌプリ |
| 5. エゾマツ      | 21. クレバス  | 37. 双耳峰      | 53. トラバース    |
| 6. 円錐峰       | 22. 水平    | 38. 母釜       | 54. 渡渉       |
| 7. カラマツ      | 23. 垂直    | 39. ニセコ      | 55. 体調不良     |
| 8. 共和        | 24. ダケカンバ | 40. ニセコアンベツ  | 56. 西        |
| 9. 五色        | 25. チセヌプリ | 41. ニセコアンヌプリ | 57. 東        |
| 10. 倶知安      | 26. 蘭越    | 42. ニトヌプリ    | 58. 10       |
| 11. コニーデ     | 27. 独立峰   | 43. 人        | 59. 7.5      |
| 12. コル       | 28. グリセード | 44. 父釜       | 60. 大町桂月     |
| 13. 昆布       | 29. 滑落    | 45. ピリカヌプリ   | 61. 伊能忠敬     |
| 14. キレット     | 30. 南     | 46. 硫黄       | 62. 懸垂下降     |
| 15. 高巻き      | 31. 南コブ   | 47. 岩        |              |
| 16. カール      | 32. 真狩    | 48. 道迷い      |              |

問 2 下線部 1・2・3・4 を示した地図記号として適切なものを下から選び、記号で答えよ。

(8=2\*4)



2 ヒグマの生態と登山時の注意について、以下の間に答えよ。(18=3\*6)

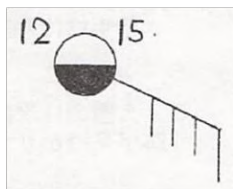
ヒグマは日本に生息する最大の陸上動物で、雄の成獣では体重 250kg～400kg になる。ツキノワグマより一回りも二回りも大きく、全道各地で約 2000 頭が生息していると考えられている。かつては羊蹄山とニセコ連峰にはヒグマは生息していないと考えられていたが、2000 年には羊蹄山の麓と八合目付近で目撃情報がある。山菜採りや釣りは、ヒグマのテリトリーを侵す行為なので、登山よりも危険だと考えられるが、登山においても、野営準備・取水・用便などでルートを外れるときには注意が必要である。登山者のヒグマ事故としては、1970 年 7 月下旬に福岡大学ワンダーフォーゲル部員 3 人が、日高山脈のカムイエクウチカウシ山で襲われた事例がある。この事件から私たちが学ぶことは多い。今大会でこの後講演する山下文孝氏は、その時偶然に彼らに遭遇している。

問 ヒグマによる事故を避けるために取るべき行動として記した以下の行動について、適切なものには「○」を、不適切なものには「×」を解答欄に記入せよ。

1. ヒグマが生息していると思われる山域を歩くときは、熊鈴などの物音を響かせ、ヒトの存在を知らせるのが良い。
2. パーティー行動をしている時は、メンバー全員が襲われるのを避けるために、リーダーは離れて行動するのが良い。
3. ヒグマは体重が重いために素早い動きができないので、遭遇したらできるだけ速い速度で逃げるのが良い。
4. 自分のザックなどの所持品をヒグマが触った時は、すぐに取り返そうとすると危険なので、そのヒグマが立ち去った後に回収するのが良い。
5. ヒグマに遭遇した時は、できるだけそのヒグマと目を合わせたまま、クマ撃退スプレーを噴射できる準備を整えるのが良い。
6. ヒグマの生息地で野営する場合は、強いにおいや残飯が出ないようにし、個人装備・団体装備を問わず、食料の管理を徹底する。

3 気象に関する以下の問題に答えよ。(16=2\*8)

- 問 1 この時期本州南岸にできることが多い梅雨前線はいずれに属するか、以下から選び、記号で答えよ。  
a 寒冷前線      b 温暖前線      c 停滞前線      d 閉塞前線
- 問 2 上記の前線は日本付近の 2 つの気団の間でできる。その 2 つを以下から選び、アルファベット順に記号で答えよ (完解)。  
a 小笠原気団      b. オホーツク海気団      b シベリア気団      d. 赤道気団
- 問 3 下の天気図記号から読み取れる情報として正しいものを 4 つ選び、記号で答えよ。



語群	ア 西北西の風	イ 東南東の風	ウ 南南東の風
	エ 南東の風	オ 風力 4	カ 風力 3
	キ 風力 2	ク 天気：あられ	ケ 天気：雷
	コ 天気：ひょう	サ 天気：みぞれ	シ 1012hPa
	ス 1015hPa	セ 12℃	ソ 15℃

- 問 4 羊蹄山の登山口 (便宜上 398m とする) における気温が 18.0℃ のとき、羊蹄山山頂 (1898m) の気温は何℃か、「気温減率」を用いて計算し、数値を答えよ。少数になる場合は、少数第 2 位まで書け。

4 登山時における安全管理・救急処置について、適切なものを全て選び、その記号を書け。(12=3\*4)

1. 【状況】下山時にパーティのメンバーが転倒し、岩角に大腿部を強打して深くえぐれた裂傷を負った。  
ア 負傷した人の意識ははっきりしていたため、身体の軸を安全な場所でまっすぐにした。  
イ 傷口が大きく開き深くえぐれて出血量が多かったため、真水でまず洗浄した。  
ウ 止血処置をするために、薬箱からガーゼを出し、傷の中に詰めて上から手で圧迫した。  
エ 自分の止血処置が有効かどうかを確認するために、定期的に手を外して確認した。
2. 【状況】止血することはできたが、ケガをしたメンバーは意識が遠のきつつある。  
ア 自分たちの力だけで救急措置を行うことが難しそうなので、110 番通報をして救助を呼ぶ。  
イ 頸動脈を触っても脈が確認できないので、橈骨の脈がふれるように、手袋をはめる。  
ウ 初めての経験で自信もないが、メンバーの胸骨圧迫を始める。  
エ 胸骨圧迫では、1 分間につき 110 回くらい、5～6 cm 胸が沈むくらい圧迫する。

3. 【状況】長時間の登山行動を行う予定だが、気温・湿度が高く、炎天下での行動が長く続く。  
 ア 脱水量の3割～5割を目安として水分補給を行う。  
 イ 行動時間が3時間を超える場合は電解質も補給する。  
 ウ たちくらみやめまいも暑さが原因のことがあるので、行動を休止する。  
 エ 山での行動中にトイレに行くのは難しいため、登山行動前には水分補給は控える。
4. 【状況】朝はよく晴れていたのに羊蹄山頂まで登ってきたが、メンバーがバテて大休止しているところに激しい雨が降り、その後急激に気温が下がった。そのメンバーは身体が震えている。  
 ア ザックの底から防寒具を出させ、すぐに身に付けさせた。  
 イ ガスバーナーでお湯を沸かし、お湯を飲ませた後、行動食の羊かんを食べさせた。  
 ウ 山頂は風が強かったが、ツェルトを出すのは手間と時間がかかるので、ザックカバーで足元を覆った。  
 エ 身体の末端が特に冷えているようだったので、水筒で村上式湯たんぽをつくり、手足の先を温めた。

5 ニセコ連峰・羊蹄山で見られる以下の植物の名前を、語群から選び、記号で答えよ。(16=2\*8)

1



2



3



4



5



6



7



8



語群

あ	イワギキョウ	い	イワブクロ	う	ウコンウツギ	え	ガンコウラン
お	キバナシャクナゲ	か	コケモモ	き	シラタマノキ	く	ツバメオモト
け	ハクサンチドリ	こ	マイヅルソウ	さ	マルバシモツケ	し	メアカンキンバイ

# 第63回北海道高等学校登山選手権大会ペーパーテスト解答用紙

1	問 1	A		B		C		D		E		F		G		H		I		J	
		K		L		M		N		O		P		Q		R		S		T	
		U		V		W		X		Y		Z		a		b		c		d	
問 2	1		2		3		4														

2	問 1															

3	問 1			問 2							
	問 3	風 向		風 力		天 気		気 圧		気 温	
	問 4	°C									

4	1											2										
	3											4										

5	1		2		3		4		5		6		7		8	

高等学校      男子・女子      番      氏名

---

第63回北海道高等学校登山選手権大会ペーパーテスト解答用紙

1	問1	A	25	B	41	C	58	D	46	E	9	F	40	G	26	H	34	I	48	J	10
		K	37	L	18	M	20	N	12	O	57	P	8	Q	56	R	11	S	33	T	50
		U	36	V	32	W	23	X	24	Y	31	Z	53	a	39	b	16	c	38	d	44
問2	1	ク	2	ア	3	エ	4	ウ													

2	問	1	○	2	×	3	×	4	×	5	○	6	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3	問1	c		問2	a		b				
	問3	風向	イ	風力	オ	天気	ケ	気圧	ス	気温	セ
	問4	8.25		°C							

4	1	ア ウ				2	ア ウ エ			
	3	イ ウ				4	ア イ			

5	1	え	2	あ	3	お	4	け	5	こ	6	し	7	く	8	う
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

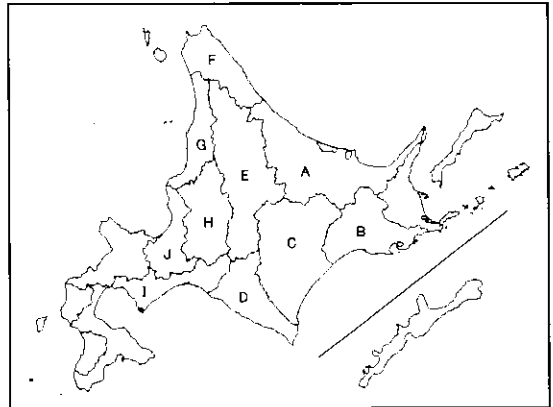
高等学校      男子・女子      番      氏名

---

共通課題テスト（令和5年度 全国高校総体）

1. 次の文中の(①)から(⑥)に適する語句を下の語群から選び、記号で答えなさい。また、(☆)には図中のA~Jから選び記号で答えなさい。(0.1点×7)

- (1) 第67回全国高等学校登山大会が行われる北海道は、日本の総面積の(①)%を占める。今大会登山競技が開催される上川総合振興局は、図中の(☆)である。
- (2) 今大会足を踏み入れる大雪山系は、「北海道の(②)」と呼ばれる。
- (3) 大会地図に記載されているように大雪山はアイヌ語で(③)と呼ばれている。ちなみに東川町によれば、大雪山のアイヌ語の(③)とは「(④)の地形の上にいるもいらっしやるもの」という意味を持つ。
- (4) 北海道の地名に「○○別」が多い、この「別」は、アイヌ語由来で(⑤)を表す。
- (5) 大会3日目は層雲峡温泉からロープウェイとリフトを乗り継いで、最初の目的地である黒岳の(⑥)合目まで一気に上ります。



- ア 11      イ 22      ウ 33      エ 川      オ 滝      カ 山脈  
 キ 5      ク 6      ケ 7      コ 8      サ 屋根      シ 尾根  
 ス 谷      セ 頂      ソ 遊ぶ庭      タ 台形状  
 チ ヌタブカウシベ      ツ カムイミンタラ      テ オブタテシケ

①	②	③	④	⑤	⑥	☆
イ	サ	チ	タ	エ	ケ	E

2. 次の問いに答えなさい。(0.1点×2)

(1) 旭岳・北鎮岳・十勝岳を北から順に並べたものを、次のア~カのうちから1つ選びなさい。

- ア 旭岳・北鎮岳・十勝岳      イ 旭岳・十勝岳・北鎮岳  
 ウ 北鎮岳・旭岳・十勝岳      エ 北鎮岳・十勝岳・旭岳  
 オ 十勝岳・旭岳・北鎮岳      カ 十勝岳・北鎮岳・旭岳

(2) 次の①~⑥の山頂を標高の高い順に並べ、記号で答えなさい。

- ① 旭岳    ② 上富良野岳    ③ 上ホロカメットク山    ④ 北鎮岳    ⑤ 黒岳    ⑥ 十勝岳

(1)	(2)
ウ	① → ④ → ⑥ → ⑤ → ③ → ②

3. 次の表は大会本部が示している行動の形態について、各コースで実施されるものには○を、実施されないものには×を記入したものである。このア～シのうち、誤っているものを3つ選び、表中の各欄に示した記号で答えなさい。(0.1点×3)

コース	メインザック行動	班行動	チーム行動	パーティー行動
上ホロ・十勝岳 縦走コース	ア ○	イ ○	ウ ×	エ ○
黒岳・北嶺岳・裾合平 縦走コース	オ ×	カ ○	キ ○	ク ×
旭岳コース	ケ ×	コ ×	サ ○	シ ○

エ	ケ	コ
---	---	---

4. 次の予報1号にある「北海道登山をするにあたって」に書かれている内容として正しいものには○、間違っているものは×を答えなさい。(0.1点×4)

- ① ヒグマの方がヒトの気配などに敏感で、嗅覚なども発達しているので、遠くからこちらの存在を知らせるようにすることが大切である。
- ② 山中を問わず山野の水の飲用は、非常にまれだが、野生動物（主にキタキツネなど）の糞便由来の寄生虫エキノコックスをもらう可能性がある。沢などの水は、煮沸しての飲用をお勧めする。
- ③ ほとんどが私有林であり、台風被害の復旧遅れや、そのほかの理由で林道入口が施錠されていることがある。
- ④ 北海道では表大雪、十勝岳連峰、利尻山、羊蹄山などの有名な山城以外でも、山中には避難小屋が多く、有料でいつでも利用することができる。

①	②	③	④
○	○	×	×

5. 次の地名の読みをひらがなで答えなさい。(0.1点×4)

- ① 夫婦岩      ② 裾合分岐      ③ 鋸岳      ④ 安足間岳

①	②	③	④
めおといわ	すそあいぶんき	のこぎりだけ	あんたるまだけ

	都道府県番号	都道府県名	学 校 名	担当	得点(2点満点)
□A隊 □B隊				□自然観察 □救急 □気象	

共通課題 (令和5年度全国高校総体)

## 自然観察知識課題テスト（令和5年度全国高校総体）

1. 次の図は上ホロ・十勝岳縦走コースを含む地形図の一部を示したものである。これを見て以下の問いに答えなさい。（0.1点×4）

(1) 図中のA～Eのうち、谷のみの組み合わせを示したものをア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア AB    イ AC    ウ AD    エ AE  
オ BC    カ BD    キ BE    ク CE

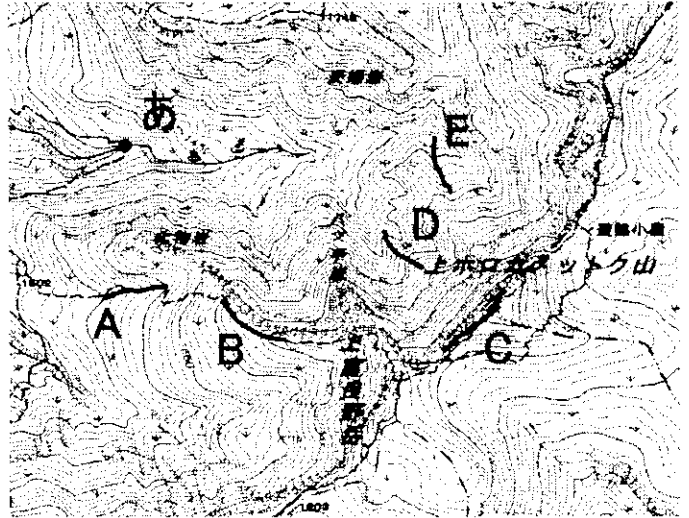
(2) 以下の文章の{ }内に当てはまる語句を1つ選び記号で答えなさい。

今大会のコースでは、地点「あ」において、

{①ア：上ホロカメットク川・イ：美瑛川・ウ：ヌッカクシ富良野川}を

{②ア：右岸から左岸に・イ：左岸から右岸に]渡る。

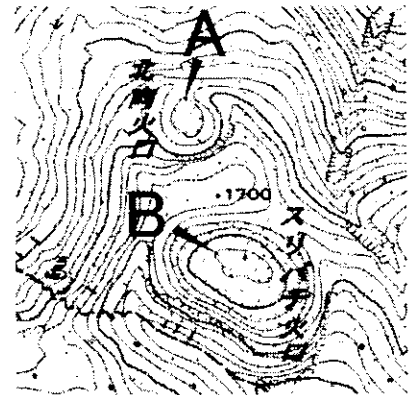
(3) 上富良野岳から十勝岳までは25000分の1の地形図において9cmであった。実際の水平距離は何mであるか求めなさい。



(1)	エ	(2)	①	②	(3)	③
			ウ	ア		2250m

2. 次の図は、25000分の1の地形図の大会コース周辺を拡大したものである。以下の文章のうち、正しいものを選び記号で答えなさい。（0.1点×1）

- ア. 地点Aの標高は、地点Bの標高と同じ
- イ. 地点Aの標高は、地点Bの標高より10m高い
- ウ. 地点Aの標高は、地点Bの標高より20m高い
- エ. 地点Aの標高は、地点Bの標高より10m低い
- オ. 地点Aの標高は、地点Bの標高より20m低い



エ

3. 黒岳を通るコースに関する次の文章中の、①から④で示した下線部と同じ意味の登山用語を語群から選んで記号で答えなさい。（0.1点×4）

お鉢の縁に沿って、①岩石が崩壊しがららしたところを登ると、右手すぐ下に雪解け水が流れている。やがて、北鎮分岐までつながる②夏になっても沢や斜面に残雪がある場所を通る。この場所は、雪質が堅く傾斜もあるので、③ひざから下を振り子のようにふって靴をつま先から雪に食い込ませ、足場を作りながら歩く。このあと、④北鎮分岐から北鎮岳まで往復した。

- ア. ザレ場
- イ. ガレ場
- ウ. ゴルジュ
- エ. 雪庇
- オ. 雪洞
- カ. 雪渓
- キ. トレース
- ク. キックステップ
- ケ. トレッキング
- コ. セルフビレイ
- サ. コル
- シ. トラバース
- ス. ピストン
- セ. 縦走

①	②	③	④
イ	カ	ク	ス

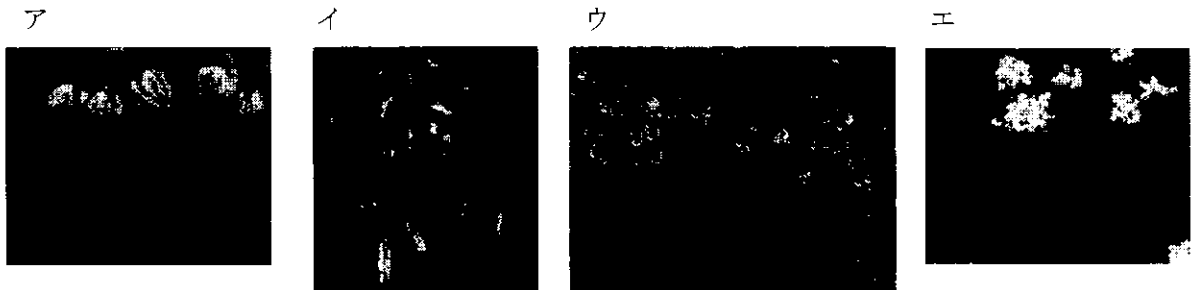
4. 以下の文章の〔 〕内に当てはまる語句を1つ選び記号で答えなさい。(0.1点×3)

- (1) 旭岳ロープウェイは、〔①ア：上川町 ・ イ：上富良野町 ・ ウ：東川町 ・ エ：美瑛町〕にある。  
 (2) 旭岳からの眺望で、北鎮岳は〔②ア：北東 ・ イ：北西 ・ ウ：南東 ・ エ：南西〕方向に見える。  
 (3) 旭川出身の三浦綾子の『泥流地帯』の題材になった山は、〔③ア：黒岳 ・ イ：北鎮岳 ・ ウ：旭岳 ・ エ：十勝岳〕である。

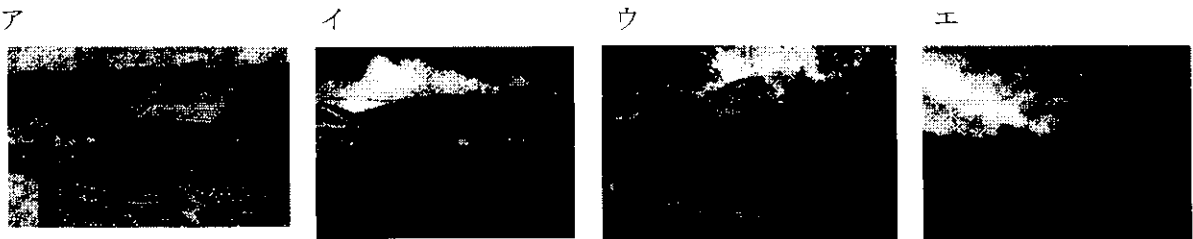
①	②	③
ウ	ア	エ

5. 以下の各問いに答えなさい。(0.1点×8)

- (1) 「ヨツバシオガマ」と「エゾノツガザクラ」の写真を、次のア～エのうちから1つずつ選び、記号で答えなさい。

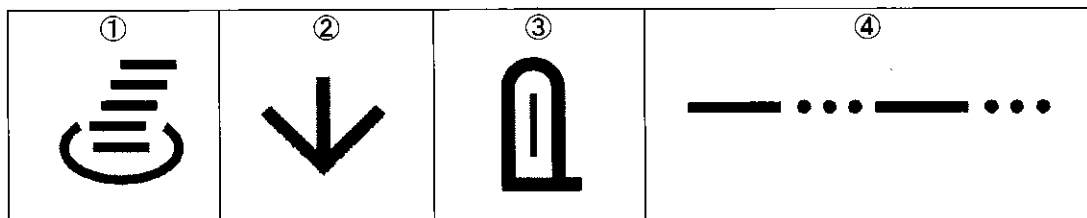


- (2) 「黒岳石室」の写真を、次のア～エのうちから1つを選び、記号で答えなさい。



- (3) 旭岳の標高を答えなさい。

- (4) 次の①～④の地図記号の示しているものをあとの語群から選び、記号で答えなさい。



【語群】ア. 記念碑 イ. 自然災害伝承碑 ウ. 電子基準点 エ. 水準点 オ. 市区町村界  
 カ. 都道府県界 キ. 北海道総合振興局・振興局界 ク. 湿地 ケ. 万年雪 コ. 砂礫  
 サ. 噴火口・噴気口 シ. 温泉 ス. 煙突 セ. ハイマツ地 ソ. 笹地 タ. 荒地

(1)	ヨツバシオガマ	エゾノツガザクラ	(2)	(3)	(4)	①	②	③	④
	イ	ア	イ	2290.9m OR 2291		サ	セ	イ	キ

<input type="checkbox"/> A隊 <input type="checkbox"/> B隊	都道府県番号	都道府県名	学 校 名	得点 (2点満点)

## 救急知識課題テスト（令和5年度全国高校総体）

1. 高山病の中で、急に発症するものには、A 高地肺水腫、B 急性高山病、C 高地脳浮腫の3つがある。これらについて以下の問いに答えなさい。（0.1点×9）

(1) A～Cの3つの高山病の症状として当てはまるものをア～ウのうちから1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア. 最初は、急に息切れが激しくなったり、仲間のペースについていけない、などという症状から始まる。トイレへ行くのさえも、息切れが激しくなる。息切れ、咳が典型的で、進行するとピンク色の泡状の痰が出てくる。発熱を伴うと感冒と区別しにくい場合もある。

イ. ファスナーを締める、靴のヒモを結ぶなどの動作に時間がかかる。まっすぐ歩けず、よろめく。意識はあるが、いつもと違うなどの変化がある。

ウ. 主なものは、頭痛、吐き気、めまい、疲労、睡眠障害などで、高度順応が不十分な高度に到着後、通常2～12時間で始まる。順応すれば1～3日で改善する。

(2) A～Cの3つの高山病の中で致命的になり、緊急の対応を要するものを全て答えなさい。

(3) 以下の文の{ ① }～{ ⑤ }に最も適する語句を選び、記号で答えなさい。

軽度の頭痛と吐き気があった。疲労やめまいの症状はなく、睡眠はいつものようにとれた。この症状の時のレイクルーズスコアを計算すると、{ ① ア：1点・イ：2点・ウ：3点・エ：4点 } となり、{ ② ア：急性高山病でない・イ：軽症・ウ：中等症・エ：重症 } と考える。

軽症の急性高山病には「努力呼吸」が有効である。「努力呼吸」とは、{ ③ ア：10cm・イ：30cm・ウ：60cm・エ：1m } 先のロウソクの火を、{ ④ ア：1秒・イ：3秒・ウ：20秒・エ：30秒 } かけてゆっくり吹き消すような呼吸を繰り返すことである。これにより肺の中の圧を高めることで、死腔を減らすことにより酸素の取り込みを上げる。

高地肺水腫や高地脳浮腫の処置では、ともに{ ⑤ ア：下山・イ：酸素吸入・ウ：投薬・エ：休養 } が最も必要な措置である。

	A	B	C			①	②	③	④	⑤	
(1)	ア	ウ	イ	(2)	A, C	(3)	イ	イ	イ	イ	ア

2. 低体温症について、以下の文を読み後の問いに答えなさい。（0.1点×6）

2009年7月にトムラウシ山でツアー客を含む9名が低体温症で死亡する大惨事が発生した。低体温症とは、通常内臓は{ ① ア：36・イ：38・ウ：40 } °C程度あるが、脳や内臓（深部体温）が{ ② ア：31・イ：33・ウ：35 } °C以下になった状態である。

冷たい雨の降り続く日に、本大会の黒岳・北鎮岳・裾合平縦走コースのように長いルートを歩いていて、行動中のメンバーが休憩中に{ ③ ア：発汗・イ：頭痛・ウ：震え } の症状を示した場合は、「低体温症」の「なりかけ」と考え、症状が進んでしまうことが無いように、A対応を始めなくてはならない。

(1) 文中の{ ① }～{ ③ }に最も適する語句を選び、記号で答えなさい。

(2) 下線部Aの低体温症の対応④～⑥のうち、正しいものには○、間違っているものには×を答えなさい。

④ 意識が正常でないと認められたので、身体をさすった。

⑤ 低体温症への処置には、折畳式水筒で湯たんぽをつくり手足を温めた。

⑥ 食べることができそうだったので、カップラーメンを作り食べさせた。

	①	②	③		④	⑤	⑥
(1)	イ	ウ	ウ	(2)	×	×	○

3. 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(0.1点×5)

本大会中、上ホロカメットク山の下りで転倒した。足首をひねり、腕にすり傷を負っている。腕の傷口は土が付着していた状態で出血していたので、急いでA傷口を洗浄し、B直接圧迫での止血をおこなった。足首は腫れていたが、激しい痛みはなかったため、取り急ぎC足首に捻挫の処置を行った。自力での歩行が可能であったので、上富良野岳方面へとゆっくり下山した。

- (1) 下線部A「傷口を洗浄」とあるが、その説明として不適切なものを1つ選びなさい。  
 ア. 洗浄では完全に滅菌できない。細菌を薄め、減らすものである。  
 イ. 洗浄の際に使用する水は、飲める程度に清潔であればよい。  
 ウ. 感染を防ぐため、土は綿棒などを用いてできる限り取り除く。  
 エ. 挫滅傷のように出血が多い場合、止血よりも洗浄を優先する。  
 オ. 少ない水での洗浄は、ペットボトルを利用した高压での洗浄がよい。
- (2) 下線部B「直接圧迫での止血」とあるが、その方法として不適切なものを1つ選びなさい。  
 ア. 直接血液に触れないよう、ビニール袋で手のひらを覆って止血した。  
 イ. 滅菌ガーゼがなかったので、清潔なタオルを傷口に当てて止血した。  
 ウ. 止血効果を確認したかったが、何度も圧迫を解除することは避けた。  
 エ. 手を離すと少しだが血が出てきたので、ひき続き止血をおこなった。  
 オ. 再出血を防ぐために、傷口に伸縮しないテープを全周性に巻きつけた。
- (3) 下線部C「足首に捻挫の処置」とあるが、その方法について説明した次の文章の空欄 { ① } ~ { ③ } に入る、語句や数字を1つずつ選び、記号で答えなさい。

外くるぶしを伸ばして靭帯を痛めた捻挫で、外くるぶしの前下に痛み、腫れがあった。まず腫れと痛みを押さえるために、{ ① ア:冷却・イ:保温・ウ:圧迫 }を行った。過度の{ ① }は患部の悪化を伴うため、1回につき{ ② ア:10・イ:20・ウ:30 }分以内に留め、痛みが再発したら再び行った。腫れをやわらげるために足首を心臓より高い位置にあげ、損傷の悪化を防ぐために副え木を用いて足首を{ ③ ア:45°・イ:60°・ウ:90° }に固定した。

(1)	エ	(2)	オ	(3)	①	②	③
					ア	イ	ウ

	都道府県番号	都道府県名	学 校 名	得点(2点満点)
<input type="checkbox"/> A隊				
<input type="checkbox"/> B隊				

救急知識課題 (令和5年度全国高校総体)

## 気象知識課題テスト（令和5年度全国高校総体）

1. 次の文章は大会山域と北海道の気象に関するものである。文中に示した①～⑩の空欄に当てはまる最も適切な語句を、ア～ウの記号で答えなさい。（0.1点×10）

7月下旬の、北海道における気象の特徴としては、〔① ア：オホーツク気団・イ：小笠原気団・ウ：赤道気団〕に覆われることが少なく湿度が低いさわやかな気候である。このように気持ちの良い季節である反面、登山の対象としては注意するべきことがいくつか挙げられる。

まず、北海道の山々は〔② ア：大雪山系・イ：日本海側・ウ：道東地方〕を中心に積雪が非常に多い。さらに緯度が高く、夏の大雪山（旭岳）の気温は〔③ ア：阿蘇山・イ：槍ヶ岳・ウ：富士山〕とほぼ同様に低く融雪が遅れるため、登山歩道の多くが6月でも雪の下に埋まっている。7月に入ると、雪原・雪渓を残しながらの登山シーズンとなるため、残雪を歩くための装備と技術が必要となる。

次に、風の影響である。大雪山・十勝岳では、7月に平均でも〔④ ア：5・イ：10・ウ：15〕m/sの風が吹いているため、体感温度は実際の温度より下がると考えてよい。例えば、標高約200mの東川町で気温が28℃のとき、気温減率を高度1,000mにつき6.5℃低下するものとする、標高2,200mの金庫岩付近の気温は約〔⑤ ア：12℃・イ：15℃・ウ：18℃〕となる。さらに、ここに風速9m/sの風が吹く場合の体感温度は、

リンケの式によると〔⑥ ア：3℃・イ：6℃・ウ：9℃〕となる。したがって、風のある稜線付近に長く留まることは注意が必要である。さらに衣服が濡れている時は、わずかな風でも体熱を激しく奪うようになるため、夏山でも凍死することがある。これが原因で2009年7月に、9名のツアー客が死亡するという大惨事が

〔⑦ ア：オプタテシケ山・イ：ニセイカウシュツペ山・ウ：トムラウシ山〕で発生している。

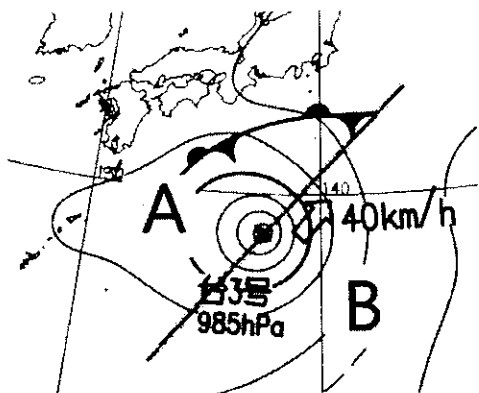
8月上旬、緯度の高い北海道の山では、東京と比べて日の出の〔⑧ ア：時間が早い・イ：時間はほぼ同じ・ウ：時間が遅い〕だけでなく、昼間の長さが長いのも特徴であり、8月8日の十勝岳では昼の時間が

〔⑨ ア：12時間18分・イ：13時間18分・ウ：14時間18分〕ある。

また、大雪山では〔⑩ ア：9月・イ：10月・ウ：11月〕に紅葉が始まり、紅葉と前後して初雪も見られるようになる。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
イ	イ	イ	イ	イ	ア	ウ	ア	ウ	ア

2. 次の文章は台風の気象に関するものである。文中に示した①～④の空欄に当てはまる最も適切な語句を記号で答えなさい。（0.1点×4）



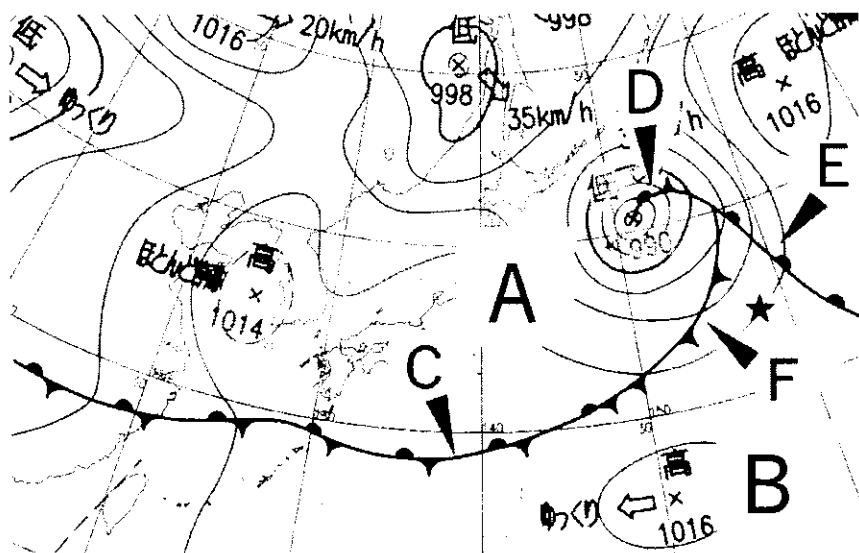
台風は熱帯地方で発生する低気圧で、風速により台風と熱帯低気圧に区別され、中心付近の最大風速が

〔① ア：15・イ：16・ウ：17〕m/s以上になったものを台風という。また、台風の風はその中心に向かって、〔② ア：時計回り・イ：反時計回り〕に〔③ ア：吹き込む・イ：吹き出す〕。

台風の風は左図中の〔④ ア：A側・イ：B側〕で強まることが知られている。これは、台風自体の風と台風を流している一般流が合成されるからである。

①	②	③	④
ウ	イ	ア	イ

3. 下に前線に関する図を示した。以下の問いに答えなさい。(0.1点×6)



(1) 前線と気団について説明した、以下の文章中の空欄にあてはまる最も適切な語句を記号で答えなさい。

性質の異なった気団が接触すると、気団同士は簡単に混ざらず、その間に境界面ができる。この境界面が地上と交差した所が前線である。上図の気団Aと気団Bでは、その性質として温度が異なり、気団Bは気団Aに対して、温度が【① ア:低い イ:同じ ウ:高い】と考えられる。

これらの前線のうち、図中Cで示した前線の名称は【② ア:閉塞 イ:停滞 ウ:温暖 エ:寒冷】前線である。また、図中の記号Fの上部に示した★印の天気は【③ ア:晴天 イ:長雨 ウ:雷雨】になっている可能性が高いと考えられる。

①	②	③
ウ	イ	ア

(2) 前線について説明した以下の文章について、その内容が正しいものには○を、誤っているものには×を答えなさい。

- ④ 図中にEで示された前線は、時に、ひょうやあられを降らせることがある。
- ⑤ 図中にDで示された前線ができると、それを伴った低気圧は衰弱に向かう。
- ⑥ 図中にFで示された前線は、南北に上ったり下ったりと、多少の移動がある。

④	⑤	⑥
×	○	×

	都道府県番号	都道府県名	学 校 名	得点 (2点満点)
<input type="checkbox"/> A隊				
<input type="checkbox"/> B隊				

気象課題 (令和5年度全国高校総体)

# 2025年(令和7年)全道大会 天気図審査関係資料

学校名		男子・女子
-----	--	-------

## 1. 各地の天気、船舶の報告 (1.2点)

採点基準 地点ごとの配点は0.2点 誤りが1項目あれば0.1点、2項目以上で0点  
 風向は「経緯度線を基準に正確に記されているか」  
 船舶からの報告は、位置の正確さも採点項目

	①	②	③	④	⑤	⑥
場所	浦河	ポロナイスク	ウルルン島	台北	上海	北緯24度 東経131度
風向	東南東	風弱く	北北東	北北東	東	南
風力	5		2	1	2	3
天気	晴れ	にわか雨	快晴	くもり	天候不明	晴れ
気圧	02hPa	06hPa	04hPa	08hPa	09hPa	不明
気温	21	9	25	32	29	-
得点	/0.2	/0.2	/0.2	/0.2	/0.2	/0.2
						/1.2点

## 2. 低気圧、高気圧、台風、熱帯低気圧、前線 (1.6点)

・高気圧、低気圧

配点：1.0点、0.2点×5個 誤りが1項目あれば0.1点、2項目以上あれば0点

	ア	イ	ウ	エ	オ
表記	低またはL	低またはL	高またはH	高またはH	高またはH
位置	北緯38度 東経148度	北緯48度 東経135度	北緯47度 東経099度	北緯35度 東経122度	北緯48度 東経160度
気圧	1000hPa	996hPa	1008hPa	1010hPa	1018hPa
進行方向	東北東	東北東	ALM-STA ほとんど停滞	南東	東
進行速度	45km/h	20km/h		30km/h	20km/h
得点	/0.2	/0.2	/0.2	/0.2	/0.2
					/1.0点

・前線

配点：0.6点 前線ごとの配点は0.2点 誤りが1項目あれば0.1点、2項目以上で0点

	A	B	C	
	温暖前線	寒冷前線	停滞前線	
	北緯38度 東経148度	北緯38度 東経148度	北緯28度 東経133度	
	北緯35度 東経154度	北緯34度 東経140度	北緯28度 東経125度	
	北緯31度 東経159度	北緯28度 東経133度	北緯26度 東経114度	
	赤	青	赤青交互	
得点	/0.2	/0.2	/0.2	
			/0.6点	
				/1.6点

### 3.等圧線(0.8点)

・放送等圧線 1012hPa

配点：0.2点 誤りが1項目あれば0.1点。2項目以上あれば0点

(20, 114)	28, 121	32, 116	38, 114	32, 129	
31, 137	36, 152	43, 149	51, 144	55, 136	/0.2点

・等圧線

配点：0.6点、各項目に誤りが1項目あれば0.1点減点。2項目以上あれば0.2点減点

2hPaごとに等圧線が描かれているか		
10hPa毎に等圧線が太く描かれ、気圧表記があるか		
等圧線の枝分かれや交差がないか		
等圧線がなめらかに描かれているか		
等圧線に不都合はないか（例：等値線が長い距離平行しない）		
低気圧・高気圧まわりの処理		
等圧線の間隔（例：極端な狭い・広いがない）		
		/0.6点

・完成度

減点のみ

見やすさ		点
------	--	---

合計

	/0.8点
--	-------

### 4.実況解析・予報(0.4点)

1つ0.1点

①	②	③	④		
イ	ウ	イ	イ		/0.4点

この天気図は、2024年6月16日正午発表のものである。

作成した天気図に基づき、次の文中の①～④に最も適切なものを選び、記号で答えよ。

(1)実況解析

①の影響で、札幌付近は②天気となっている。

(2)予報

24時間後の6月17日には、日本の東の低気圧の移動にともない、停滞前線が関東の東まで延び、黄海の高気圧が日本に接近し勢力を増す。また日本海の低気圧はオホーツク海に達するため札幌付近は③の気圧配置となり南寄りの風が吹き④天気となる。

- ① (ア)三陸沖から四国の南にかかる寒冷前線 (イ)低気圧の通過 (ウ)千島付近の高気圧  
 ② (ア)気温は低く快晴の (イ)暖かく晴れ渡った (ウ)大気の状態が不安定で雨雲が発生しやすい (エ)梅雨末期の大雨の  
 ③ (ア)西高東低 (イ)南高北低 (ウ)東高西低 (エ)南岸低気圧型  
 ④ (ア)気温は低く快晴の (イ)暖かくすごしやすい (ウ)大気の状態が不安定で雨雲が発生しやすい (エ)梅雨末期の大雨の

合計

	点
--	---

漁業気象通報放送原稿 その1 2024年6月16日正午

気象庁発表の6月16日正午の気象通報です。

初めに今日正午の各地の天気は、

石垣島	南南西	風力 5	晴れ	10 hPa	32度
那覇	南西	風力 4	くもり	11 hPa	29度
南大東島	南西	風力 3	くもり	12 hPa	29度
名瀬	南西	風力 2	くもり	10 hPa	28度
鹿兒島	西	風力 3	くもり	08 hPa	30度
福江	西北西	風力 2	くもり	08 hPa	27度
巖原	北西	風力 3	くもり	07 hPa	27度
足摺岬	西南西	風力 3	晴れ	06 hPa	27度
室戸岬	西北西	風力 3	晴れ	05 hPa	25度
松山	南南西	風力 2	くもり	06 hPa	28度
浜田	南西	風力 3	くもり	06 hPa	25度
西郷	西北西	風力 3	晴れ	04 hPa	26度
大坂	南西	風力 2	晴れ	05 hPa	28度
潮岬	南西	風力 2	晴れ	06 hPa	24度
八丈島	南南西	風力 3	くもり	05 hPa	23度
大島	西南西	風力 2	くもり	04 hPa	24度
御前崎	北北東	風力 1	くもり	05 hPa	24度
銚子	西南西	風力 2	くもり	03 hPa	25度
前橋	南東	風力 2	晴れ	02 hPa	29度
小名浜	南南東	風力 3	晴れ	03 hPa	24度
輪島	北北西	風力 3	くもり	03 hPa	24度
相川	北西	風力 4	くもり	03 hPa	23度
仙台	南東	風力 2	晴れ	02 hPa	26度
宮古	東南東	風力 2	晴れ	1000 hPa	29度
秋田	西南西	風力 3	くもり	02 hPa	27度
函館	南西	風力 2	くもり	01 hPa	22度

浦	河	東南東	風力	5	晴れ	0.2 hPa	21度	
根	室	南南東	風力	4	くもり	0.5 hPa	18度	
稚	内	北	風力	2	くもり	0.1 hPa	17度	
ポロナイスク		風弱く	にわか雨		0.6 hPa	9度		
セベロクリリスク		東	風力	2	くもり	1.9 hPa	7度	
ハバロフスク		北北東	風力	3	くもり	9.99 hPa	15度	
ルドナヤプリスタニ		東	風力	1	にわか雨	9.98 hPa	12度	
ウラジオストク		南東	風力	3	晴れ	9.99 hPa	19度	
ソウル	北西	風力	3	快晴	0.6 hPa	27度		
ウルルン島	北北東	風力	2	快晴	0.4 hPa	25度		
プサン	西北西	風力	2	晴れ	0.5 hPa	29度		
モットポ	東北東	風力	3	晴れ	0.8 hPa	26度		
チェジュ島	北北西	風力	3	晴れ	0.8 hPa	27度		
台	北	北北東	風力	1	くもり	0.8 hPa	32度	
恒	春	南西	風力	2	晴れ	1.0 hPa	32度	
長	春	南西	風力	3	天気不明	0.3 hPa	24度	
北	京	南	風力	2	天気不明	0.7 hPa	29度	
大	連	南西	風力	3	天気不明	0.8 hPa	27度	
青	島	南	風力	2	天気不明	0.9 hPa	26度	
上	海	東	風力	2	天気不明	0.9 hPa	29度	
武	漢	東南東	風力	2	天気不明	0.5 hPa	33度	
アモ	イ	南西	風力	2	雨	0.9 hPa	26度	
香	港	南南西	風力	4	くもり	0.7 hPa	31度	
バスコ	南南東	風力	3	晴れ	1.0 hPa	30度		
マニラ	西	風力	2	くもり	1.1 hPa	31度		
父	島	南	風力	3	晴れ	1.5 hPa	30度	
南	鳥	島	東	風力	2	天気不明	1.7 hPa	30度
富士	山					気温	2度	

次に今日6月16日正午の船舶の報告をお知らせします

フィリピン東方の 北緯 15度 東経 131度 南東 風力 4  
(天気) 不明 (気圧) 不明

**本州南方 の 北緯 24度 東経 131度 南 風力 3  
(天気) 晴れ (気圧) 不明**

本州南方 の 北緯 21度 東経 134度 東南東 風力 2  
(天気) 晴れ (気圧) 不明

日本海 の 北緯 37度 東経 136度 風向・風力 不明  
(天気) 晴れ (気圧) 0.4 hPa

本州南方 の 北緯 25度 東経 138度 南 風力 4  
(天気) 快晴 (気圧) 1.4 hPa

三陸沖 の 北緯 39度 東経 144度 南東 風力 2  
(天気) くもり (気圧) 不明

本州東方 の 北緯 34度 東経 151度 南西 風力 5  
(天気) くもり (気圧) 1.2 hPa

つづいて漁業気象です。

**日本の東の北緯38度、東経148度には、1000 hPaの発達中の低気圧があって、東北東へ毎時45キロで進んでいます。**

**中心から温暖前線が北緯35度、東経154度を通して、北緯31度、東経159度のび、寒冷前線が北緯36度、東経145度、北緯34度、東経140度、北緯31度、東経138度を通して、北緯28度、東経133度に達し、**

**さらに停滞前線となって北緯28度、東経129度、北緯28度、東経125度、北緯27度、東経120度を通して、北緯26度、東経114度のびています。**

中心の南西側950キロ以内と北東側750キロ以内では、今後18時間以内は15から18メートルの強い風が吹く見込みです。

オホーツク海、日本海、黄海、東シナ海では、所々濃い霧のため見通しが悪くなっています。

日本の南からアリューシャンの南にかけての北緯36度、東経141度、(42、141)(47、152)(55、162)(60、170)(60、180)(34、180)(30、165)(28、140)(30、132)(33、132)及び元の北緯36度、東経141度の各点で囲まれた海域では、所々濃い霧のため見通しが悪くなっています。

アムール川中流の北緯53度、東経125度には、994 hPaの低気圧があつて、東へ20キロで進んでいます。

沿海州の北緯48度、東経135度には、996 hPaの低気圧があつて、東北東へ20キロで進んでいます。

日本海の北緯43度、東経138度には、996 hPaの低気圧があつて、北東へ30キロで進んでいます。

アリューシャン近海の北緯51度、西経179度には、1002 hPaの低気圧があつて、西北西へゆっくり進んでいます。

アリューシャンの南の北緯38度、西経178度には、1006 hPaの低気圧があつて、東北東へ30キロで進んでいます。

中心から温暖前線が北緯38度、西経173度を通つて、北緯36度、西経168度のび、寒冷前線が北緯33度、東経178度、北緯30度、東経172度を通つて、北緯28度、東経167度に達し、さらに停滞前線となつて北緯28度、東経164度を通つて、北緯31度、東経159度のびています。

モンゴルの北緯47度、東経099度には、1008 hPaの高気圧があつて、ほとんど停滞しています。

黄海の北緯35度、東経122度には、1010 hPaの高気圧があつて、南東へ30キロで移動しています。

南鳥島近海の北緯26度、東経157度には、1018 hPaの高気圧があつて、ほとんど停滞しています。

千島の東の北緯48度、東経160度には、1018 hPaの高気圧があつて、東へ20キロで移動しています。

日本のはるか東の北緯36度、東経162度には、1018 hPaの高気圧があつて、東へ20キロで移動しています。

日本付近を通る1008 hPaの等圧線は、北緯20度、東経114度、(28、121)(32、116)(38、114)(32、129)(31、137)(36、152)(43、149)(51、144)(55、136)(57、137)の各点を通っています。









